

概要

- スタイル変換に特化した事前訓練モデルの提案
- 各文にスタイルラベルを付与した生コーパスを用いて事前訓練
- フォーマルさに関するスタイル変換の自動評価と人手評価の両方で有効

提案手法

(1) スタイルラベル付きコーパスの作成

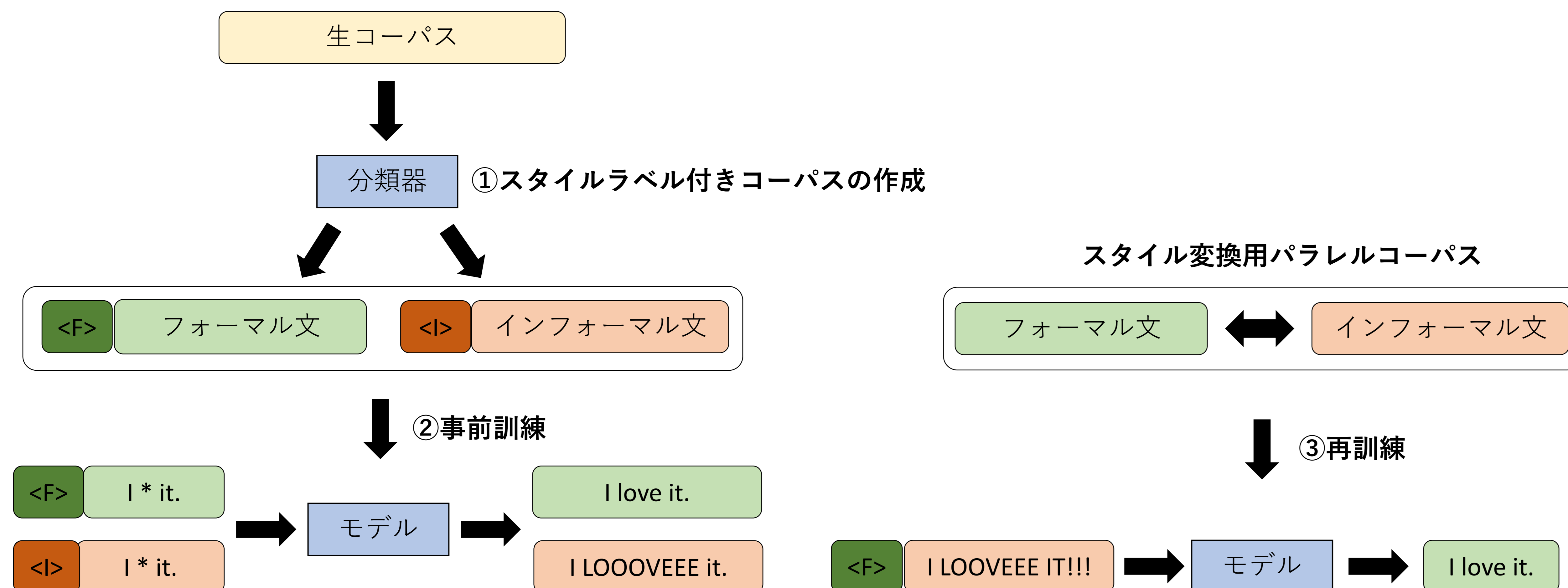
生コーパスからスタイル分類器を用いてフォーマル文とインフォーマル文に分類する
フォーマル確率とインフォーマル確率が0.9以上の文をそれぞれ5千万文ずつ抽出する

(2) 事前訓練

入力文の先頭に生成する文のスタイルを指示するラベルを追加し、
BARTと同じ穴埋めタスクを行う

(3) 再訓練

事前訓練で訓練されたスタイルラベルを入力文に追加して再訓練を行う



実験

- 事前訓練コーパス：CC100（英語）1億文／約12億文
- 再訓練コーパス：GYAFC 5万文対×2ドメイン（E&M, F&R）
- 評価：自動評価（BLEU）、人手評価（同義性、流暢性、スタイル）
- 比較手法：Transformer、BART

| | BLEU | | 人手評価 | | |
|-------------|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| | E&M | F&R | 同義性 | 流暢性 | スタイル |
| Transformer | 70.7 | 74.7 | 5.12 | 4.29 | 1.63 |
| BART | 72.3 | 76.4 | 5.18 | 4.45 | 1.94 |
| 提案手法 | 73.5* | 77.1* | 5.24 | 4.46 | 1.98 |

*はBARTと比べて有意差あり（ $p < 0.05$ ）

少ない再訓練コーパスでも有効

